

<p>経済・経営</p>	<p>【代表的な研究テーマ】</p> <p>□ 地方行財政及び地域政策</p>
<p>key word</p>	<p>課題解決に役立つシーズの説明</p>
<p>■ 財政学</p> <p>■ 地域政策</p> <p>■ 人口減少社会</p>	<p>研究領域は財政学・地方財政論及び地域政策ですが、これまで滋賀県内外の多くの自治体の審議会等で、総合計画、行財政改革、環境政策、市民活動支援、介護保険等に関わってきました。</p> <p>現在、重点的に取り組んでいるのは、人口減少社会における地域政策です。</p>
	
<p>北村 裕明 Hiroaki Kitamura</p>	
<p>経済学部 特任教授</p>	
<p>【プロフィール】</p> <p>・略歴: 1981年滋賀大学経済学部助手、講師、助教授を経て、1996年より教授、2018年停年退職し名誉教授</p> <p>・専門分野: 財政学、地方財政論、地域政策</p> <p>【主な社会的活動】</p> <p>・所属学会:財政学会、地方財政学会、国際公共経済学会、文化経済学会、NPO学会等</p> <p>・社会的活動:おうみ未来塾塾長等</p> <p>【主な著書】</p> <p>・『現代イギリス地方自治の展開』(共編著)法律文化社、1993年</p> <p>・『現代イギリス地方税改革論』日本経済評論社、1998年</p> <p>・『経済経営リスクの日中比較』(共編著)サンライズ出版、2009年</p> <p>・『地域プロデューサーの時代』淡海文化振興財団、2013年等</p>	
	<p>企業・自治体へのメッセージ</p> <p>人口減少社会の地域で、コミュニティをどのように編成するのか、地域政策を担う人材をどのように育成するのか、新たな雇用の場をどのように創り出すのかについて真剣に考える必要があると思っています。</p>